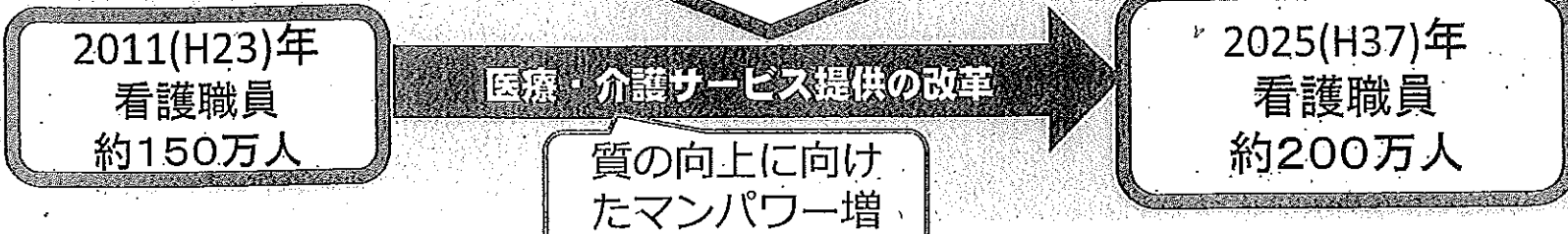


「新たな看護職員確保に向けた総合的な対策」の必要性

看護職員を取り巻く現状と課題

- 偏在等を背景とした、「看護職員不足」についての医療現場の指摘
- 夜勤・交代制勤務など厳しい勤務環境とワークライフバランス確保の必要性
- 社会保障・税一体改革の推進に向けたマンパワー増強の必要性

- 社会保障・税一体改革による看護職員の必要数 約15年で +50万人
- 少子化が進む中、抜本的な看護職員確保対策が不可欠



2012(H24)年 就業者数 約154万人

新規資格取得者 約5.1人

離職等による減少 約2.1万人

3.0万人の増加 (※過去10年間平均)

少子化の進展で、今後、この水準維持のためには何らかの対策が必要

新規養成の拡大

新卒入学者 約5.8万人

復職支援

潜在看護職員 約71万人 (※推計値)